

東京2020ライブサイト等基本計画（案）について

1 検討経過

- 都と組織委員会は共同して、世界中から訪れる観戦客等がライブ中継で競技観戦を楽しみ、大会の感動と興奮を共有できる会場を、都内及び被災地に設置することが必要
- 昨年4月の都内8候補地公表後、都と組織委員会は、現地調査や関係者との協議を行いながら、各会場の実現可能性を検証
- 特に、各会場の特性に応じた適切なセキュリティ対策に万全を期すとともに、大規模なライブサイトは数を絞る等、安全・安心な運営に向けた検討を実施

2 会場の概要

- 都内については、世界中からの多数の観戦客等を迎える広域的な受け皿として、8候補地すべてを活用
- 各会場特有の状況を踏まえ、実施内容・運営にメリハリ
- 都内全体の盛り上げのため、多摩地域に都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場1か所を追加。具体的な実施場所は、現在検討中
- 今後、都と組織委員会は、各会場にふさわしい実施内容・運営についてさらに検討し、関係者の意見を踏まえ、年度内に「東京2020ライブサイト等基本計画」を決定

①	東京2020ライブサイト	区部拠点会場	都立代々木公園
		多摩拠点会場	都立井の頭恩賜公園
②	ターミナル駅周辺 東京2020ライブサイト		・高輪ゲートウェイ駅前用地 (東日本旅客鉄道株式会社との連携事業) ・池袋西口公園 ・東京都庁舎
③	都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場	区部拠点会場	・都立日比谷公園 ・都立上野恩賜公園
		多摩拠点会場	多摩地域会場(1か所検討中)
④	組織委員会が中心となって展開する盛り上げエリア		臨海部(青海・有明地区等)
⑤	被災地 東京2020ライブサイト		・岩手県:(オリ)盛岡城跡公園 多目的広場 (パ)JR盛岡駅前 滝の広場 ・宮城県:勾当台公園 ・福島県:(オリ)鶴ヶ城公園 (パ)アクアマリンパーク ・熊本県:熊本城ホール

① 東京2020ライブサイト（都と組織委員会共催）

- 都民のみならず、国内外から訪れる観戦客等を広く受け入れる広域的で大規模なライブサイトとして、区部と多摩に拠点会場を設ける。大型ビジョンによる競技中継のほか、東京・日本の魅力発信、大会パートナーの出展等により、大会の盛り上げを図る。

② ターミナル駅周辺 東京2020ライブサイト（都と組織委員会共催）

- 都内外からアクセスしやすく、利便性が高いターミナル駅周辺に会場を設け、世界中から訪れる観戦客等を受け入れる。大会パートナーとの連携や既存施設の活用により、効果的に大会の盛り上げを図る。

③ 都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場

- 大会を契機に、様々な主体が、多様な文化や食等東京及び日本の魅力発信や観光PR等に取り組み、ともに大会を盛り上げていくことが重要
- 都は、区部と多摩に拠点会場を設け、競技中継を行うとともに、様々な団体や地元等の出展やイベント等と連携しながら、パブリックビューイングを核とする全体的な盛り上げを創出できるよう取り組む。

④ 組織委員会が中心となって展開する盛り上げエリア

- 臨海部(青海・有明地区等)は、アーバンスポーツ等多くの競技会場が集積する特別な場所であり、大会の象徴的なエリアとして盛り上げを図る。
- 組織委員会を中心に、大会運営に配慮しながら、都や大会パートナーに加え、地元等の協力も得ながら、来訪者が大会の雰囲気を感じられる特別な盛り上げエリアとして、今後詳細検討を実施

3 開催期間及び時間

(1)開催期間

- ・東京2020ライブサイト 区部・多摩拠点会場:大会期間(計30日間)を基本に実施
- ・その他の会場:詳細な開催期間は今後検討・調整

(2)開催時間

- 競技が多く実施される時間帯(午前10時から午後9時頃)を中心に会場ごとに検討・調整

4 来場者想定

- 会場の有効面積や実施内容、立地特性等の要素を踏まえ、大会期間中、都内会場では1日あたり87,000人以上、総計で260万人程度の来場者を想定

【1日あたりの来場者想定数】

(人/日)

2-①	都立代々木公園	35,000	2-③	都立日比谷公園(※)	6,000
	都立井の頭恩賜公園	20,000		都立上野恩賜公園(※)	8,000
2-②	高輪ゲートウェイ駅前用地	14,000	2-④	多摩地域会場(検討中)	(未定)
	池袋西口公園	2,000		臨海部(青海・有明地区等)	(未定)
	東京都庁舎	2,000		※公園来場者数ではなく、公園内の競技中継の観覧者想定数	

- 被災地会場の来場者数については、今後の会場検討にあわせて想定

5 実施にあたっての留意点

- 来場者が会場内で安全・安心に過ごすことができるよう、主催者による自主警備(民間警備員による警備)を基本とし、地元警察等、関係機関と十分に連携
- 暑さ対策は、日除けテントやミストの設置等、ハード面・ソフト面の対策を実施
- 会場内にはアクセシビリティに配慮したルートやエリアを設定するとともに、Wi-Fiを整備
- 区市町村が実施するコミュニティライブサイト等について、都は補助制度による支援のほか、適切な情報提供、各種相談対応等を実施